



第49回 愛媛形成外科研修会

抄録集

日 時 令和4年11月19日(土) 17時00分～

場 所 四国がんセンター 新棟3階研修室①②

愛媛県松山市南梅本町甲160

TEL: 089-999-1111(代)

当番世話人

HITO 病院 形成外科 田中 伸二

第49回 愛媛形成外科研修会

研修会について

1. 参加受付は、16時30分より会場で行います。
2. 参加費として2,000円を受付にて申し受けます。
今回の特別講演は、日本形成外科学会の「領域講習」に認定されております。
「領域講習」として受講される専門医の方は受講料として1,000円を申し受けます。
3. 演者の方でまだ研修会会員でない先生は、入会の手続きをお取りください。
4. 一般演題での発表時間は、一題あたり5分と3分、質疑応答は3分を予定しています。
5. PCはWindows10、PowerPointを使用しての発表になります。なお、OS、バージョン等の影響で調整等が必要になる場合があります(当日は、USBメモリーあるいはPC本体をお持ちください)。
6. 当日、駐車場ご利用の方には無料ライターを準備しております。
駐車券を受付までお持ちください。

COVID-19対策について

1. 来場前には、各々必ず検温を行い、会場へお越しください。
2. 常時マスクを着用してください。
3. 座長席、演台前に消毒液を設置いたしております。
マイク、マウス、レーザーポインター等ご利用の前後には、手指消毒をしてください。
マイクは、その都度消毒いたします。
4. 3密回避のため、会場では十分に間隔をあけてお座りください。

会 歴

会 期	世 話 人	会 場	日 時	参加者
第1回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	松山成人病センター	平成10年7月4日	15名
第2回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	愛媛県医師会研修所	平成10年12月5日	17名
第3回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	松山成人病センター	平成11年6月19日	20名
第4回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成11年11月27日	19名
第5回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成12年6月24日	17名
第6回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成12年12月9日	20名
第7回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成13年6月23日	23名
第8回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成13年12月8日	23名
第9回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成14年6月8日	27名
第10回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成14年12月14日	27名
第11回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成15年6月28日	25名
第12回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成15年12月13日	25名
第13回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成16年6月26日	26名
第14回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成16年12月4日	29名
第15回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成17年6月18日	31名
第16回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成17年12月10日	35名
第17回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成18年6月24日	31名
第18回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 研修室	平成18年12月9日	26名
第19回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成19年6月16日	37名
第20回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成19年12月15日	30名

会期	世話人	会場	日時	参加者
第21回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 研修室	平成20年6月14日	30名
第22回	庄野 佳孝 (松山赤十字病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成20年12月6日	30名
第23回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成21年6月27日	32名
第24回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成21年12月12日	28名
第25回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 研修室	平成22年6月19日	34名
第26回	田中 伸二 (石川病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成22年12月11日	30名
第27回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成23年6月18日	31名
第28回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成23年11月26日	25名
第29回	庄野 佳孝 (松山赤十字病院 形成外科)	えひめ共済会館 4階 末広	平成24年6月23日	34名
第30回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部附属病院 形成外科)	四国がんセンター 新棟3階研修室	平成24年12月1日	26名
第31回	田中 伸二 (HITO病院 形成外科)	四国がんセンター 新棟3階研修室	平成25年6月22日	36名
第32回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	にぎたつ会館 2階 楓の間	平成25年11月30日	30名
第33回	安井 史明 (住友別子病院 形成外科)	四国がんセンター 新棟3階研修室	平成26年6月21日	32名
第34回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	愛媛県立中央病院 新館カファリス会議室	平成26年11月29日	32名
第35回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部附属病院 形成外科)	四国がんセンター 新棟3階研修室	平成27年6月27日	36名
第36回	田中 伸二 (HITO病院 形成外科)	HITO病院 3階 大会議室	平成27年11月21日	27名
第37回	手塚 敬 (松山市民病院 形成外科)	松山市民病院 2階多目的ホール	平成28年6月11日	32名
第38回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 新棟3階研修室	平成28年12月10日	30名
第39回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	愛媛県立中央病院 3階中会議室①②	平成29年6月24日	36名
第40回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部附属病院 形成外科)	四国がんセンター 本館3階研修室	平成29年12月9日	32名

会期	世話人	会場	日時	参加者
第 41 回	庄野 佳孝 (松山赤十字病院 形成外科)	松山赤十字病院 4 階多目的ホール	平成 30 年 6 月 9 日	27 名
第 42 回	田中 伸二 (HITO 病院 形成外科)	HITO 病院 3 階 大会議室	平成 30 年 12 月 1 日	28 名
第 43 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 新棟 3 階研修室	令和元年 6 月 22 日	31 名
第 44 回	中川 浩志 (愛媛県立中央病院 形成外科)	愛媛県立中央病院 管理棟 1 階 講堂	令和元年 12 月 7 日	37 名
第 45 回	安井 史明 (住友別子病院 形成外科)	オンライン開催	令和 2 年 12 月 12 日	28 名
第 46 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部附属病院 形成外科)	オンライン開催	令和 3 年 6 月 12 日	35 名
第 47 回	手塚 敬 (松山市民病院 形成外科)	松山市民病院 2 階 多目的ホール	令和 3 年 12 月 4 日	23 名
第 48 回	庄野 佳孝 (松山赤十字病院 形成外科)	松山赤十字病院 4 階多目的ホール	令和 4 年 6 月 4 日	32 名

四国がんセンターへのアクセス



愛媛県松山市南梅本町甲 160 TEL:089-999-1111(代)

当日は、正面玄関が閉まっております。建物右側にあります「時間外出入口」をご利用ください。

プログラム

Section I (17:00~17:40)

座長:愛媛大学医学部附属病院 形成外科 眞田 紗代子 先生

1. iSAP(intra-soft tissue antibiotics perfusion)の使用経験 (5分)

済生会松山病院 形成外科 三宅 啓介

2. 両側対称性に生じた上腕慢性膿皮症の1例 (5分)

愛媛県立中央病院 形成外科 岡田 将誉 他

3. 日常診療・手術に利用している100均グッズの紹介 (3分)

松山市民病院 形成外科 上村 由美子 他

4. 耳下腺管損傷の2例 (5分)

徳島赤十字病院 形成外科 山中 健生

5. 感染が疑われ吸収性プレートを抜去した頬骨骨折の一例 (5分)

愛媛大学医学部附属病院 形成外科 船木 杏奈 他

Section II (17:40~18:20)

座長:愛媛県立中央病院 形成外科 川浪 和子 先生

6. 後頭部毛母系中間悪性腫瘍および頬部扁平上皮癌を契機に診断に至ったMuir-Torre症候群の1例 (5分)

住友別子病院 形成外科 岡本 かよ 他

7. 右鼠径部皮下に発生したメルケル細胞癌の1例 (5分)

愛媛大学医学部附属病院 形成外科 川野 貴大 他

8. 皮下浸潤をきたし切除に難渋した外陰部乳房外Paget病の一例 (5分)

松山赤十字病院 形成外科 阿古目 健志 他

9. 喉頭壊死全摘後、DP皮弁にて食道形成した1例 (5分)

四国がんセンター 形成外科 山下 昌宏

10. 遊離空腸移植にアレンジを加えた経験 (5分)

高知医療センター 形成外科 五石 圭一

休憩 (10分)

総会 (18:30~18:45)

特別講演(18:45~19:45)

座長:HITO病院 田中 伸二 先生

「皮膚の発癌機構と今後の治療展望」

講師:徳島大学大学院 医歯薬学研究部 皮膚科学分野 教授 久保 宜明 先生

共催: 松山形成外科医会 愛媛形成外科医会

Section I (17:00~17:40)

愛媛大学医学部附属病院 形成外科 眞田 紗代子 先生

1. iSAP(intra-soft tissue antibiotics perfusion)の使用経験

済生会松山病院 形成外科

○三宅 啓介

(5分)

軟部組織の感染巣に対して、高濃度の抗生剤を持続的に投与する iSAP(intra-soft tissue antibiotics perfusion)の有効性が報告されている。当院での倫理委員会で同治療が承認されたため、軟部組織感染の治療または予防目的に4例を経験した。使用の実際と注意点について報告する。

2. 両側対称性に生じた上腕慢性膿皮症の1例

愛媛県立中央病院 形成外科

○岡田 将誉、中川 浩志、川浪 和子、石野 憲太郎、土居 未歩

(5分)

89歳男性。幼少期から気管支喘息の既往がある。喘息発作に対して市販のアドレナリンを皮下注射する治療が10代に行われており、両側上腕に癬痕を形成していた。67歳時、たわして擦ったことを契機に左上腕から排膿が持続し、当院で切除術と全層植皮術を行った。対側の右上腕も88歳時から排膿が持続し、切除術と分層植皮術を行った。非衛生的な環境で皮下注射を頻回に行った癬痕に両側対称性に生じた上腕慢性膿皮症の1例を経験したので、若干の文献的考察を加えて報告する。

3. 日常診療・手術に利用している 100 均グッズの紹介

松山市民病院 形成外科

○上村 由美子、手塚 敬、木村 千寿

(3 分)

工夫 1. 当院では手術時の針刺し事故防止のため、リキャップの禁止を徹底している。針つき注射器置き場として 100 均で購入したクッキーの型抜きを使用しており、使用方法を紹介する。

工夫 2. 感染性粉瘤に対し、切開・排膿・洗浄処置が必要な症例は、日常診療において、しばしば遭遇する。内容物を周囲にまき散らさないように一塊に排出するのに、100 均で購入した甘皮向き・耳かきを使用しており、使用方法を紹介する。

4. 耳下腺管損傷の 2 例

徳島赤十字病院 形成外科

○山中 健生

(5 分)

耳下腺管損傷は顔面外傷の診察時には留意しなければならないことの一つであるが、実際に経験することは多くないと考えられる。今回われわれは短期間に顔面外傷による耳下腺管部分断裂と頬部皮下腫瘍摘出時の医原性の耳下腺管完全断裂を経験した。経験の共有を図るため、若干の文献的考察を含めて報告する。

5. 感染が疑われ吸収性プレートを抜去した頬骨骨折の一例

愛媛大学医学部附属病院 形成外科

○船木 杏奈、眞田 紗代子、森 秀樹、浅野 遥奈、川野 貴大、泉本 真美子、松本 麻由、
戸澤 麻美、中岡 啓喜

(5 分)

71 歳女性。左頬骨骨折の整復に吸収性プレート(Lactsorb®)を使用した。術後 60 日目頃より、左頬の疼痛と腫脹を認め、プレート感染が疑われ、抜去に至った。吸収性プレートに対する感染や、異物反応の発生頻度など若干の文献的考察を加えて報告した。

Section II (17:40~18:20)

座長:愛媛県立中央病院 形成外科 川浪 和子 先生

6. 後頭部毛母系中間悪性腫瘍および頬部扁平上皮癌を契機に診断に至った Muir-Torre 症候群の 1 例

住友別子病院 形成外科

○岡本 かよ、安藤 穂南、安井 史明

(5 分)

39 歳女性、後頭部の毛母系中間悪性腫瘍と左頬部の扁平上皮癌を発症した。若年で多発する皮膚悪性腫瘍を認めたため家族歴を聴取し、遺伝性疾患を疑い遺伝的検査を行ったところ Muir-Torre 症候群の診断に至った。Muir-Torre 症候群は毛包脂腺腫瘍あるいはケラトアカントーマと内臓悪性腫瘍を併発する稀な遺伝性疾患で Lynch 症候群の一亜型と考えられている。若年者に発症する毛包脂腺系腫瘍を認めた場合は入念な家族歴の聴取が重要であると考ええる。

7. 右鼠径部皮下に発生したメルケル細胞癌の 1 例

愛媛大学医学部附属病院 形成外科

○川野 貴大、森 秀樹、船木 杏奈、浅野 遥奈、泉本 真美子、眞田 紗代子、松本 麻由、

戸澤 麻美、中岡 啓喜

(5 分)

79 歳男性。4 か月前から右鼠径部に皮下腫瘤を自覚した。前医の針生検でメルケル細胞癌と診断され当科を紹介受診した。右鼠径部皮下に 12×9cm 大の腫瘍を認め切除術を行ったが、断端陽性のため放射線療法を追加した。術後 4 か月で多発皮膚皮下転移を生じ、アベルマブ投与を 3 クール行うも全身状態悪化のため、緩和治療へ移行となった。皮下原発のメルケル細胞癌は稀であるため、若干の文献的考察を加え報告する。

8. 皮下浸潤をきたし切除に難渋した外陰部乳房外 Paget 病の一例

松山赤十字病院 形成外科

○阿古目 健志、庄野 佳孝

(5 分)

3 年前から陰嚢右側に腫瘍形成し近医で加療するも良くなりせず当院受診。生検にて乳房外 Paget 病の診断となり腫瘍切除したが断端陽性となり、再手術するも垂直断端陽性となったため、追加切除、センチネルリンパ節生検、右鼠径リンパ節郭清を行った。しかし、永久標本では深部にさらに浸潤が認められ精巣への浸潤が疑われたが再手術の希望はなく経過観察となった。本症例について、若干の文献考察を加えて報告する。

9. 喉頭壊死全摘後、DP 皮弁にて食道形成した 1 例

四国がんセンター 形成外科

○山下 昌宏

(5 分)

62 歳男性。下咽頭癌 CRT 後喉頭壊死、出血にて右総頸動脈結紮+喉頭全摘+DP 皮弁+外瘻形成された患者。その後 DP 皮弁により食道再建を行っているが、創部の離開再縫合など治療に難渋している。これまでおよび今後のよりよい対応について諸先生方のご教授を頂きたい。

10. 遊離空腸移植にアレンジを加えた経験

高知医療センター 形成外科

○五石 圭一

(5分)

咽喉食摘などでは遊離空腸移植による再建が標準術式となっているが、欠損範囲が広いまたは2か所にわたるなど遊離空腸のみでは再建できない場合もある。標準の遊離空腸移植+アルファの再建を行った経験を報告する。

休憩 (18:20~18:30)

総会 (18:30~18:45)

1. 次回研修会の日程

2. その他

特別講演(18:45~19:45)

座長:HITO病院 田中 伸二 先生

「皮膚の発癌機構と今後の治療展望」

講師:徳島大学大学院 医歯薬学研究部 皮膚科学分野 教授

久保^{よしあき} 宜明 先生

進行期メラノーマに対する治療が格段に進歩しているのは周知の通りである。その基盤には皮膚の発癌機構に関する研究の進展がある。ケラチノサイト、メラノサイト由来の代表的な皮膚癌である有棘細胞癌、メラノーマにおける発癌機構の基本から最新知見までを紹介し、進行期皮膚癌に対する今後の治療展望を考えてみたい。

略 歴

【現職】

令和 4 年 徳島大学大学院医歯薬学研究部皮膚科学 教授

【職歴】

昭和 63 年 3 月 徳島大学医学部医学科 卒業
5 月 徳島大学附属病院皮膚科 入局
平成 2 年 6 月 徳島赤十字病院皮膚科
平成 4 年 6 月 徳島大学附属病院皮膚科 医員
平成 5 年 4 月 癌研究会癌研究所実験病理部 嘱託研究員
平成 7 年 4 月 徳島大学附属病院皮膚科 医員
8 月 徳島大学附属病院皮膚科 助手
平成 10 年 4 月 徳島大学附属病院皮膚科 講師
平成 16 年 4 月 徳島大学大学院医歯薬学研究部 講師
平成 19 年 4 月 徳島大学大学院医歯薬学研究部 准教授
平成 23 年 10 月 徳島大学大学院医歯薬学研究部 教授

【主な専門領域】

皮膚腫瘍、遺伝性疾患、脱毛症、アトピー性皮膚炎、皮膚分子生物学

【趣味】

剣道